

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

自然体で合理的な世界

親会社株主帰属当期純
2億円顧客企業稼働社数
1316社解約率
3.6%サービス導入企業数累
5800社

② 中長期の経営戦略

1. AI FIRST戦略推進

全事業・サービスにおいてAI駆動開発を基本とし、働く仕組みを合理化。コミュニケーション・ディレクション領域の自動化を実装

3. マーケティング効率化

マーケティング投資の効率化や広告アロケーションの見直しによって、収益性改善に取り組む

2. セグメント再編と事業集中

2026年8月期より報告セグメントをBPaaS事業・HR事業・AI Tech事業の3区分に変更。BPaaSとAI Techに重点投資

4. フルリモート組織構築

独自インフラ・運用を確立し、大規模組織におけるフルリモートワーク運営を実現。従業員の98.5%がフルリモート勤務

③ 対処すべき課題

① 成長領域への投資と収益性改善

- ・マイクロロット市場拡大に対応したサービスラインナップ最適化
- ・マーケティング投資の効率化と広告アロケーション見直し
- ・個人利用の広がりに対応した顧客基盤拡大

② 生産性向上と適正利益確保

- ・AI駆動開発によるコミュニケーション・ディレクション領域の業務構造改革
- ・生成AI活用による業務効率化と利益率改善
- ・専門性の高い領域における体制強化

③ 情報管理の徹底

- ・顧客から受託した業務情報のセキュリティ確保

面接で使えるポイント

- ・2025年9月にミッションを『創り変える。働くの全てを。』に刷新し、生成AIの進化による働き方の再定義を推進
- ・従業員の98.5%がフルリモート勤務を実践し、大規模組織でのリモートワーク運営インフラを独自構築
- ・2028年8月期に親会社株主帰属当期純利益2億円達成を目指す中期経営計画で、AI Techを新たな成長領域として重点投資

証券コード 9331

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
46億円営業利益率
▲8.3%財務健康度
16点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 30.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
397万円

サービス業内 505位/524社

平均年齢
38.4歳

サービス業内 270位/527社

平均勤続
3.9年

サービス業内 413位/527社

女性管理職
67.4%

サービス業内 6位/371社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: キャスター、Slackの指示だけでAIが会計処理を実行する「

